2/12

# デモクラット

No.367
市大支部機関紙
2/-

# 本日 協議会開催

## [1] 医学部民主化綱領の基本的方向を認めよ

## [2] 敗北主義的「拒否権」をのりこえ、最高決定機能をもつ"全学協議会"学部協議会"を設置せよ

## [3] 学生を含む大学改革協議会を設置せよ

敗北主義的拒否権をのりこえ
学部協議・全学協議の確立せよう！民主的改革を勝利へ！

市大医学部の民主的改革をめざす斗いは、医学部の封建体制（医局記座制）と製薬資本との二重の重圧と、反独占の斗う医学部と創出すべく斗われてきた。現在、無責任の頂点田中学部長を退陣させ、我々の新たな医学部問題の明点に至っている。この時点で医学部の民主的改革を徹底的に行ない、反独占の斗う砦をつくるのでなく、民主化の拒否権獲得斗争に結ぶ化し、民主化の徹底を成果とするうえとしている統一会議（共産党系）諸君がいる。我々は敗北主義的拒否権にしがみつくのではなく、大学の全構成員から成り、合意事項を全構成員が実行義務を負う、実質的最高決定機能をもつ全学協議会・学部協議会を斗いとることが要請されていると考える。その中で、拒否権を行使しないでとすむ大学を見捨て、全大学人の斗う連帯で、政府文部省の反動的文教政策に大学ぐるみで対決してゆくべきなのだ。我々は、敗北主義的・日和見主義的「拒否権」をのりこえ、今こそ学部協・全学協の場で、医学部の民主的改革を勝利させるうでは、ないか！！

本日の会員で、学生を含む大学改革協議会の設置を

医学部の問題はまさに政府独占の反動的大学再編に抗して全学的大学の民主的改革の問題を提起している。本日の同文で協議会は医学部問題を医学部にとどまるという様なうしろ向きの方向ではなく、医民主化綱領の基本意向を認め、全学的大学改革を積極的に押しすすめる方向でこの問題を考えるべきである。直ちに市大全構成員からなる大学改革協議会を設置し、大学改革の方向を早急にうちたてねばならない。この協議会は全学協議会へと発展させてゆくべきものなのだ。

民主化を妨害する封鎖⇒大学解体路線を許すな！！

京大に於て全く大衆的支持のない封鎖の演を為者まで守った統一会議（共産党系）諸君は今やここになって大学の封鎖闘争を強めている。彼らの言う封鎖は社学同の大学解体路線と表裏一体をなし、自からの民主化の任務を放棄し、粉砕あるのみであり大学の民主的改革とは縁もゆかりもない。これこそ医学部の民主化のエネルギーをふみにじるものであり、民主化に敵対する以外の何物でもない。彼等の策動を断じて許すな！！

# 民主化に敵対する「封鎖」＝大学解体路線を許すな！

全ての民主的学友は、民学同に結集しよう。

国際学連の旗の下、単一全学連を再建しよう。